

大淀川下流域における水害を大きく減らします！！

～ 河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）～

本年9月の台風14号は宮崎県内を暴風域に巻き込みながら九州西海上を通過し、大淀川下流域の1市3町（宮崎市、東諸県郡高岡町、東諸県郡国富町、東諸県郡綾町）において、浸水面積2,166ha、浸水家屋数4,483戸（床上浸水3,697戸、床下浸水786戸）に達する甚大な被害となりました。

国土交通省では浸水被害を大きく減少させるため、激特事業として採択することとしました。

記

激特事業の概要

事業区間及び事業内容

【九州地整】

大淀川本川	約 23.1 km	河道掘削、築堤、樋管設置等
支川本庄川	約 1.8 km	築堤、樋管設置等
支川深年川	約 4.0 km	築堤、樋管設置等
支川瓜田川		内水対策
支川瓜生野川		内水対策

【宮崎県】

支川大谷川	約 3.3 km	築堤
支川瓜田川・麓川		麓川改修、輪中堤等
支川飯田川		内水対策

事業期間 平成17年度～平成21年度の5カ年間

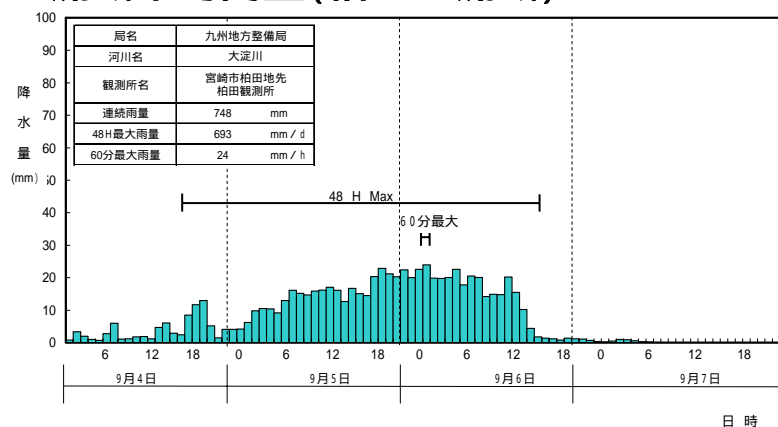
採択事業費 272億円（九州地整240億円 宮崎県32億円）

観測史上、最高水位を記録

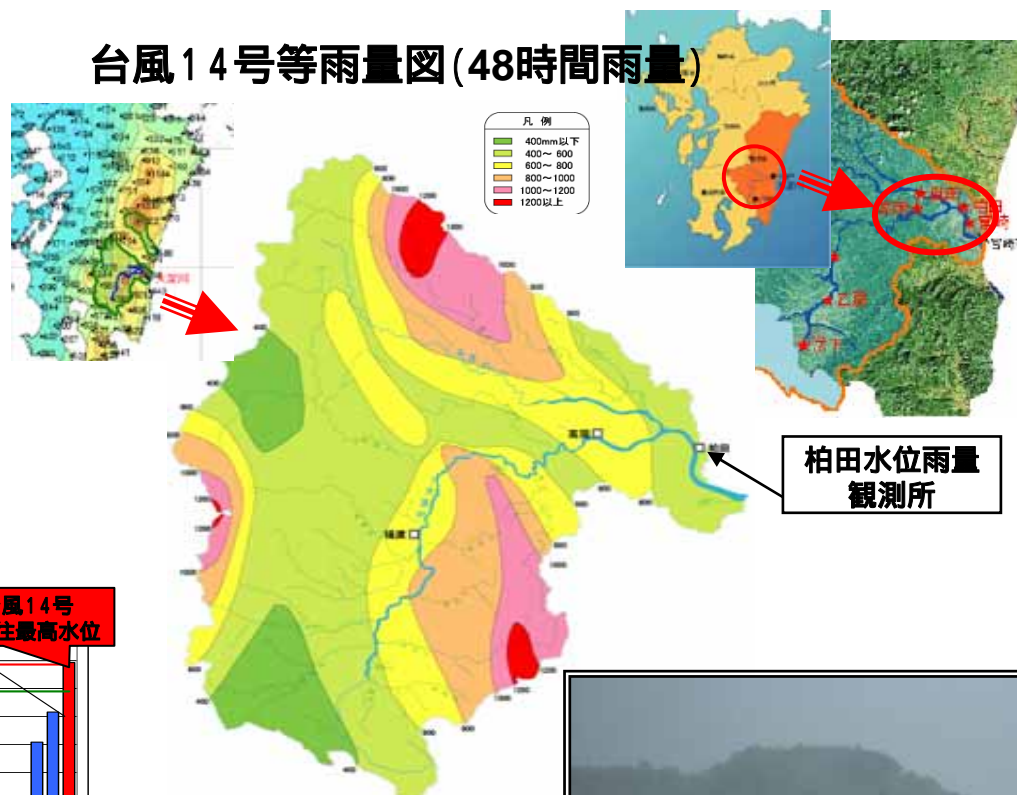
台風14号は、9月6日宮崎県内を暴風雨に巻き込みながら九州西海上を通過し、大淀川流域で693mm/48hの記録的な降雨をもたらした。この豪雨により柏田水位観測所では観測史上最高水位を記録し、大淀川本支川において11箇所の溢水被害が発生した。

大淀川下流域の1市3町(宮崎市、東諸県郡高岡町、東諸県郡国富町、東諸県郡綾町)では、**浸水面積2,166ha**、**浸水家屋4,483戸**に達する甚大な被害が発生した。

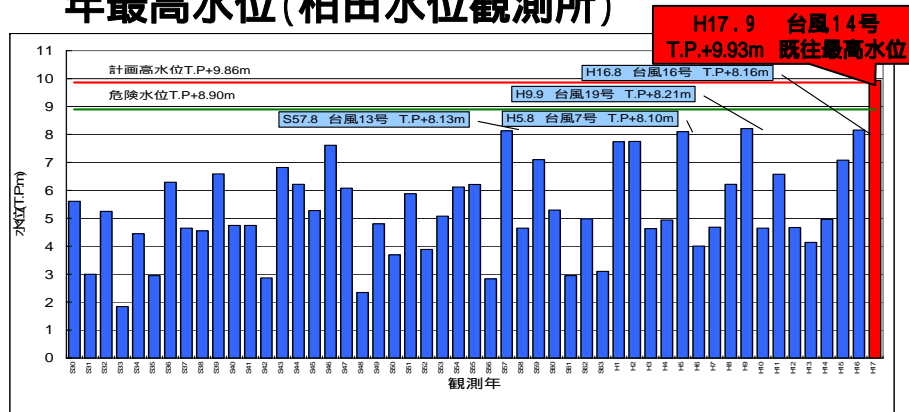
流域平均雨量(柏田上流域)



台風14号等雨量図(48時間雨量)



年最高水位(柏田水位観測所)



大淀川本支川において溢水14箇所、内水被害18箇所発生！



大淀川 左岸 25.5地点 高岡町赤谷地区



大淀川 左岸 21.6地点 高岡町内山地区

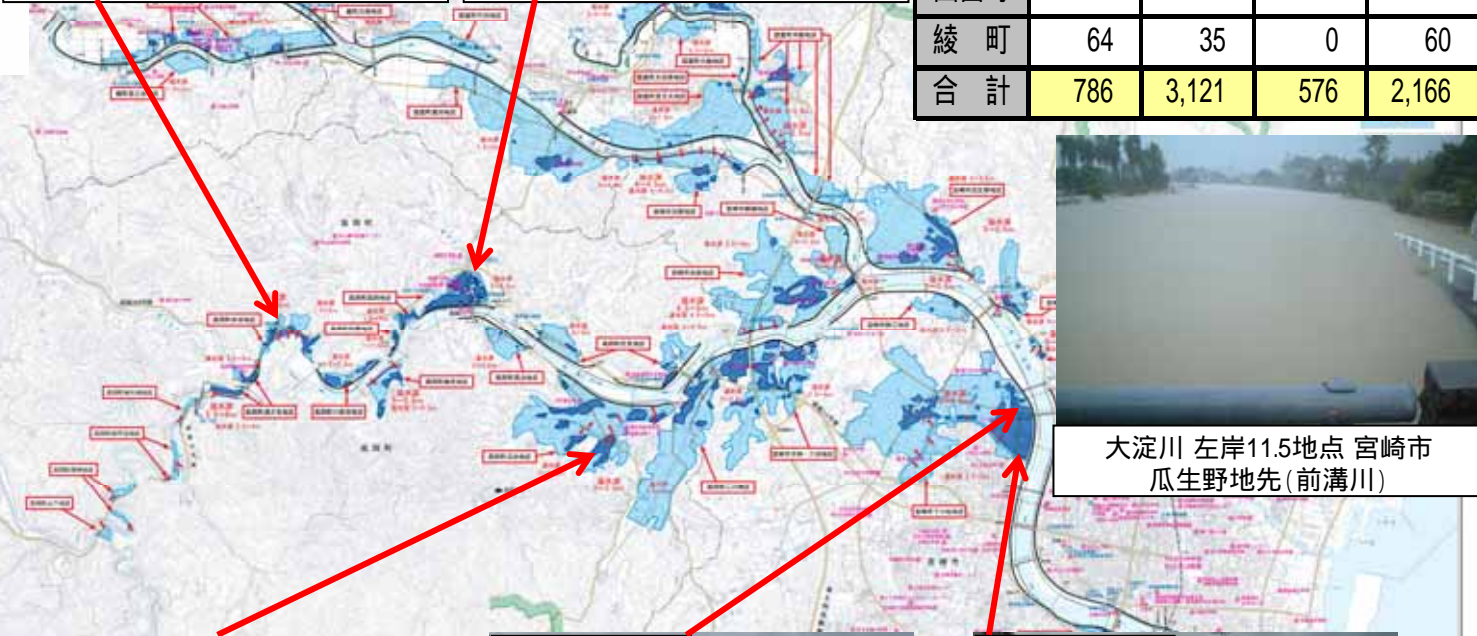
一般被害状況

国土交通省宮崎河川国道事務所:平成17年10月11日現在

市町村名	床下浸水 (戸)	床上浸水(戸)		浸水面積 (ha)
		軒下浸水	軒上浸水	
宮崎市	426	1,954	362	1,060
高岡町	147	798	214	430
国富町	149	334	0	616
綾町	64	35	0	60
合計	786	3,121	576	2,166



宮崎日日新聞社提供



大淀川 左岸11.5地点 宮崎市
瓜生野地先(前溝川)



大淀川 右岸 18.0地点 高岡町麓地区



大淀川 右岸 8.7地点 宮崎市下小松地区

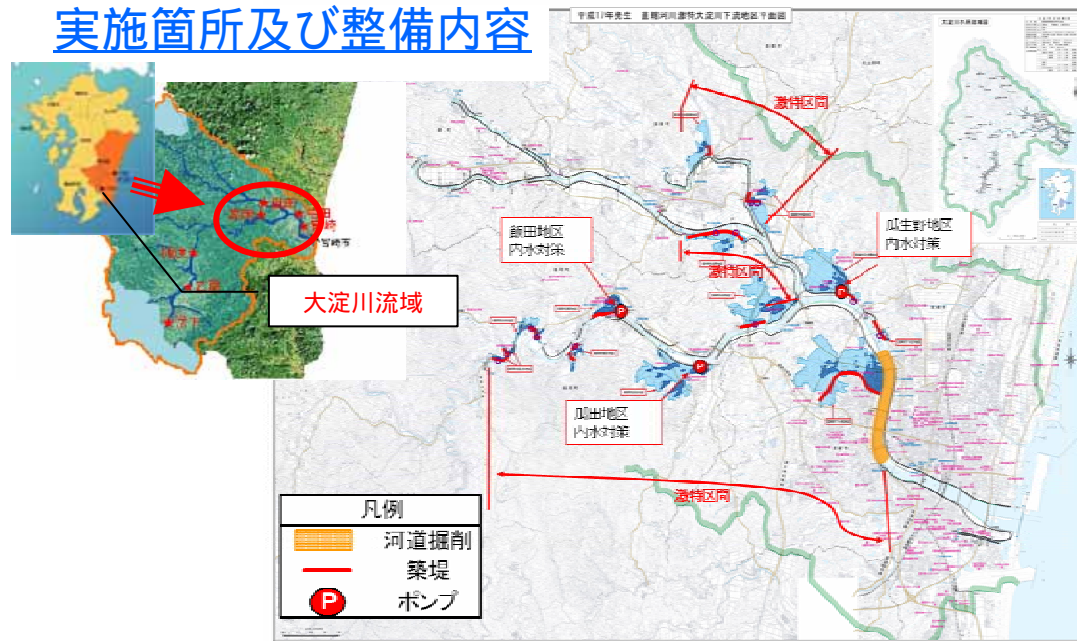


大淀川 右岸7.8地点 宮崎市下小松地区

凡 例	
	溢水箇所
	床下浸水範囲
	床上浸水範囲

激特事業実施箇所と整備内容

実施箇所及び整備内容

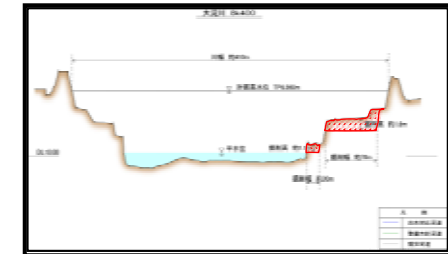


整備内容

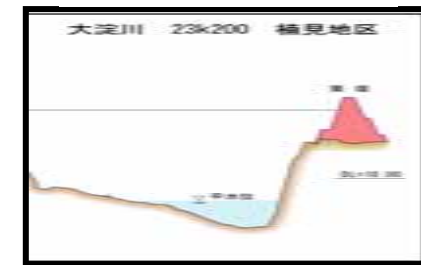
- ・河道掘削
- ・護岸
- ・築堤
- ・輪中堤
- ・内水対策
- ・橋梁架替 等

整備期間

平成17年度
～平成21年度
(5年間)



掘削（大淀川）断面図



築堤（大淀川）断面図

水害に強い地域作りの支援

- ・学識者からなる「大淀川水系水害に強い地域づくり委員会(仮称)」により、ハード対策・ソフト対策両面により総合的な浸水被害軽減対策を検討
- ・内水を含む浸水常習地域の公表(ポンプ整備箇所を含む)
- ・土地利用規制や災害危険区域指定など自治体による防災に関する取り組みを支援
- ・広報活動・出前講座等による住民意識の改革

水害時における危機管理体制の強化

- ・国・県等河川管理者と関係市町村・報道機関・自衛隊等との間で防災情報(河川水位、洪水警報、画像情報等)を共有する独自の危機管理ネットワーク及びシステムの構築
- ・地域住民に向けたわかりやすい防災情報(身近な水位情報、画像情報)の提供体制の構築
- ・出水時における水閘門操作委託者(市町村及び操作人)への教育の徹底

ハザードマップの支援

- ・ハザードマップ作成支援のため、国・県・市町村からなる災害情報協議会による浸水情報の共有・浸水地区の避難ルート見直し
- ・地域毎のハザードマップ勉強会開催等によるハザードマップ作成の支援強化